

<様式1> 管理運営状況評価書

【対象年度:平成27年度】

(⑤その他の施設)

I 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

施設名		遠州南部とうもんの里総合案内所			担当課名	農林課			
区分		内容・説明							
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	遠州南部とうもんの里総合案内所条例							
	(2)施設設置目的	遠州南部地域の農村文化及び観光資源の総合的な情報提供並びに地域の活性化を図るため。							
	(3)施設が有する設備、機能の概要	総合案内コーナー、研修室、加工体験室(調理室)、特産物展示スペース							
	(4)施設建設年度	平成18年度							
	(5)耐震性能の有無	有							
	(6)将来予想される改修経費(想定年度と費用見込み)	檜塗装(約90万円)							
	(7)指定管理者名	NPO法人 とうもんの会							
	(8)指定期間	平成24年4月1日 から 平成29年3月31日 まで							
	(9)施設の管理運営形態	①指定管理料のみによる運営							
	(10)自主事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし		※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。					
	(11)その他事業の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり <input checked="" type="checkbox"/> 実施なし		※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。					
(12)事業報告書提出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務)		<input type="checkbox"/> 提出なし						
(13)利用者満足度調査等実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし		※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成27年度)						
区分		H25実績	H26実績	H27実績	H28当初	備考			
2 利用状況	(1)施設利用者数	(目標値)	-	95,000	95,000	95,000	※協定書に記載した要求水準値を記入してください。		
		(実績値)	101,125	98,501	104,344				
	内訳 (施設・設備ごと)	活動体験者	835	893	1,049				
		講座受講者	435	634	539				
		団体活動及び視察者数	2,944	2,677	2,897				
		レジ客(出荷者含む)	62,054	62,871	67,267				
		案内・ロビー及びイベント広場利用者等	34,857	31,426	32,592				
	(2)稼働率(利用率)							↓備考欄に算定式を記入してください↓	
	(施設・設備ごと)	A平日昼間							①とうもん案内処・・・306回、24,043人
									②研修室・・・116回、4,861人
									③体験加工室・・・79回、1,654人
									④展示室・・・312回、67,533人
		B平日夜間							⑤イベント広場・・・61回、5,212人
									⑥事務・管理・・・326回、1,041人
									平成27年度利用者合計①～⑥ 104,344人
区分		H25実績	H26実績	H27実績	H28当初	備考			
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名							※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入	
	(2)利用者一人当たりの運営経費	49	51	50					
	(3)運営日数	302	310	306	306				
	(4)運営人員	①正規職員	0.0	0.0	0.0	0.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。		
②臨時職員		9.0	9.0	9.0	9.0				

II 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28当初予算額	備考
(1)運営コスト(A)	①人件費	4,395,661	4,329,670	4,598,147	4,703,000	
	②印刷費	291,684	341,055	280,132	276,000	
	③通信費	306,956	353,192	321,658	285,000	
	④事務用品、旅費、図書費など					
	⑤借上料					
	⑥保険料、消費税(租税公課)等					
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)					
	計	4,994,301	5,023,917	5,199,937	5,264,000	
対前年度増減率			0.6	3.5	1.2	
区分		H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	1,169,586	1,086,422	962,486	1,019,000	
	清掃業務	278,038	412,935	323,621	364,000	
	公園樹木管理	229,898	243,444	208,390	226,000	
	浄化槽管理業務	196,110	201,713	201,713	200,000	
	防火設備保守事業	60,060	59,850	60,282	60,000	
	防犯警備事業	164,190	168,480	168,480	169,000	
	POS管理保守事業	241,290	0	0	0	
	②修繕費	201,703	230,597	75,350	150,000	
	③光熱水費	1,359,994	1,475,028	1,431,754	1,548,000	
	④燃料費					
	⑤清掃費					
	⑥保守点検費					
	⑦その他(施設消耗品)	444,416	354,036	486,473	175,000	
計	3,175,699	3,146,083	2,956,063	2,892,000		
対前年度増減率			△ 0.9	△ 6.0	△ 2.2	
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)		8,170,000	8,170,000	8,156,000	8,156,000	
(4)合計のうち運営コストの割合		61.1	61.5	63.8	64.5	
(5)施設の収入 ※1)下記3)に入力する		30,210	36,700	12,960		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合		0.6	0.7	0.2		

III 収支差額の状況 **注【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】**

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H25決算額	H26決算額	H27決算額	備考
a) 施設使用料収入	30,210	36,700	12,960	※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	8,170,000	8,170,000	8,156,000	
収支差額 a)－b)	△ 8,139,790	△ 8,133,300	△ 8,143,040	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H25決算額	H26決算額	H27決算額	備考
a) 施設利用料金収入				※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額(a)－トータルコスト)				
c) b)に対する市の支出額(指定管理料)				

(3)自主事業及び指定事業・その他事業の状況

(単位:円)

区分	H25決算額	H26決算額	H27決算額	備考
a) 自主事業の収入	12,253,778	13,483,405	14,314,115	直売所、各種講座
b) 自主事業の支出	11,584,249	12,534,480	13,224,173	
収支差額 a)－b)	669,529	948,925	1,089,942	
c) その他事業の収入	0	0	0	
d) その他事業の支出	0	0	0	
収支差額 c)－d)	0	0	0	

IV 担当課による評価

(1)施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	設置目的を達成できている	3	どうもんの里では、農業体験やウォーキング、生き物調査、味噌づくりなど、農村の魅力を堪能できる工夫をこらした多彩なプログラムを提供し、施設の設置目的に沿った事業を展開している。引き続き、ニーズに即した情報提供や事業の展開を実施すること。
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

(2)協定書に記載した業務要求水準の達成度 <達成 3点、未達成 0点>

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
A 施設全体の満足度	90%	37%	0	アンケート結果を分析し、利用者の関心を引きつける魅力ある施設運営を行うこと。(満足37%、普通63%)
B サービス内容の満足度	90%	40%	0	ニーズを考え、どうもんでしか体験できない事業や商品を開発、事業内容の充実と集客に努めること。(満足40%、普通60%)
C 従業員対応の満足度	90%	72%	0	引き続き気持ちの良い対応を努めること。(満足72%、普通28%)
D 施設安全対策の満足度	90%	47%	0	定期的に施設内外を巡回し、安全の確保に努めること。(満足47%、普通53%)
E 美観・清潔感の満足度	90%	72%	0	利用者の増加に伴い、利用者が快く衛生的に利用してもらえるよう、引き続きトイレや加工体験室の清掃管理等の充実を図ること。(満足72%、普通28%)
F 施設の利用者数	95,000人	104,344人	3	

※協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、達していなければ0としてください。

(3)収支の改善状況

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	黒字である。	1	使用料制度の施設であり、研修室の使用料のみが収入源である。研修室は年間通じて多くの方が利用しているが、利用者のほとんどが指定管理者が行う事業への出席者である。指定管理者が行う事業での使用は減免となるため、研修室を会議等で利用する団体等を増やすよう、研修室使用についてのPRを強化すること。
2	収支均衡している。／前年度より収支差額が縮小(改善)している。		
1	赤字である。／前年度と同等の収支差額である。		
0	大幅な赤字である。／前年度より収支差額(赤字)が増えている。		

(4)安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	3	施設の適正な維持管理及び緊急時の対応マニュアルに基づき、利用者の利便性及び安全性を確保し、職員による不定時巡回、施設の見回りや危険箇所の調査・点検を行うとともに、施設利用者などと日常的に情報交換を行い、安全管理に務めること。
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5)本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。(施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	2	田園空間整備事業で整備した広域的な拠点施設であるため、事業の目的に沿った事業展開や事業効果が求められる。行政は常に設置目的に合った事業を推進できているか、また事業の効果について関与する必要がある。
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。(直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。(独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)		
0	民間では実施できない、担い手がないため、行政がやるべきである。(直営化、収支差額補てん型指定管理者制度など)		

(6)総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	3	地域の農村文化の伝承や情報発信及び地産地消の推進に貢献しており、今後更なる発展が期待できる。また、地域農業の活性化のための朝採り市も、出荷者の増加に伴い荷ざろえも充実、消費者の満足につながり、生産者・消費者がともに地域の環境と農地を守る活動も順調な広がりを見せている。施設の設置目的にあった管理運営がなされており、今後も施設利用者の利便性やサービスの向上を図り、さらなる利用促進に取り組むことを期待する。
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計	15	／33
----	----	-----

V その他自由意見

--